

平成20年11月14日

各位

上場会社名 株式会社 バルクホールディングス  
 代表者 代表取締役社長 村松 澄夫  
 (コード番号 2467)  
 問合せ先責任者 経理財務部長 笠原 誠  
 (TEL 03-5649-2500)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	723	13	14	10	314.86
今回発表予想(B)	567	△103	△94	△161	△4,629.62
増減額(B-A)	△155	△116	△108	△172	――
増減率(%)	△21.5	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	692	△69	△66	△137	△3,941.04

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,499	38	41	20	597.04
今回発表予想(B)	1,284	△70	△51	△117	△3,382.95
増減額(B-A)	△214	△108	△93	△138	――
増減率(%)	△14.3	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,399	△85	△79	△201	△5,797.86

### 修正の理由

#### 1. 第2四半期累計期間

マーケティングリサーチ事業に関しては、価格の競争が激化しておりますが、当社グループが重点施策として取組んでおります「収益構造の改善」が徐々に成果を発揮し、堅調な収益を確保しました。

しかし、コンサルティング事業に関しては、まず情報セキュリティコンサルティング収入において、情報セキュリティの構築が企業経営を行う上での必須条件という考え方が定着してきておりますが、景気の後退懸念等が影響してコンサルティングの導入に慎重となり、売上高は計画を下回る見込みとなりました。つぎに、内部統制コンサルティング収入において、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱等を受け、新規株式公開(IPO)を行う企業が大幅に減少したことやITシステムの導入に慎重となる企業が増加したことに伴い、売上高は計画を下回る見込みとなりました。

以上の結果、連結では計画を155百万円下回る567百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、経費削減に取り組んでおりますが、上記売上高の減少による影響により、計画を116百万円下回る103百万円の損失となる見込みです。

経常利益につきましては、受取利息等により営業外収益が増加したものの、営業損失の影響により、計画を108百万円下回る94百万円の損失となる見込みです。

当期純利益につきましては、上述の経常損失の計上による影響のほか、特別利益及び特別損失を計上したことにより計画を172百万円下回る161百万円の損失となる見込みです。

#### 2. 通期

引き続き「収益構造の改善」や「経費の削減」を実施してまいります。第2四半期の業績見通しや平成20年10月17日に公表しました「業務上の提携」による新規事業などの要因を勘案して通期業績計画を見直したところ、上記のとおり当初予想を下回る見通しです。

(備考)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上